

書き手のくふうを考えよう
「ほけんだより」を読みくらべよう平成30年9月19日(水)
13時20分～14時5分
男子6名 女子11名
計17名

本単元で育成する資質・能力

思考・表現する力

1 単元について

小学校学習指導要領国語科，C 読むこと (1) イ「目的に応じて，中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え，文章を読むこと。」を重点に指導する事項としている。

このような単元です

- 本単元では，筆者の意図によって事柄の取り上げ方や説明の仕方が異なることを理解してその違いを読み取ることにより，筆者の意図に応じた表現の工夫を読み取る力を身につけることをねらいとしている。
- 本教材は，目的と構成を同じくしながら，書き手の意図によってそれぞれ違う表現の工夫をしている文章を読み比べることで，取り上げられている事柄と説明の仕方の違いに焦点化して考えることができる。また，「ほけんだより」という学校生活における配布物を題材に取り上げており，実生活での活用につなげやすい教材である。

このような児童です

- 本学級の児童は，物語文を読むことには，意欲的に取り組むが，説明文を読み取ることには時間がかかり，支援のいる子が多い。
- 中心となる語や文を考えながら段落ごとの内容をとらえる学習はしているが，図や表などが含まれた実生活のテキストを読み，そこから事実と意見との関係を考え，書き手の工夫を読み取ることはまだ学習していない。
- 全体の場では，発表することは難しいが，ペアや班での話し合いになると，自分の考えを発表することができる子がいる。

だからこのような授業をします

- ・ 「総合的な学習の時間で勉強していることを他学年やお家の人に知ってもらうために新聞を作ろう。」という単元のゴールを設定し，児童が目的意識を持って学習に取り組めるようにする。
- ・ 2つの文章を読み比べられるように，ワークシートを使用する。
- ・ 「ほけんだより」のよいところを見つけ，その理由を発表することができるように，穴抜きのワークシートを用意し，全員が書けるようにする。

2 単元の目標

- 二つの文章を読み比べて，事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけることができる。
【国語への関心・意欲・態度】
- 文章を読み比べて，図表と文章との関係を考えながら，書き手の工夫に着目して読むことができる。
【読むこと C (1) イ】
- 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い，一人一人の着眼点や感じ方に違いのあることに気づくことができる。
【読むこと C (1) イ】
- それぞれの文章のどちらがよいと思うか，理由を明確にして書くことができる。
【書くこと B (1) ウ】
- 語句の役割や語句相互の関係に注意し，文の構成について理解している。
【伝統的な文化と国語の特質に関する事項 (1) キ】

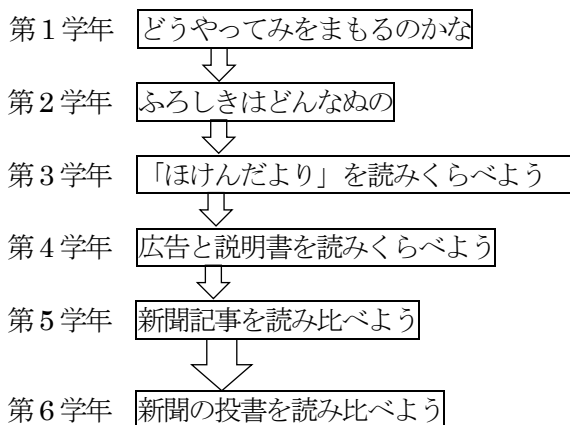
3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力 ☆本単元で育てる資質・能力に関わって	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとしている。	○ 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。 ☆ 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいている。	○ それぞれの文章のいいところを見つけ、理由を書いている。	○ 語句の役割や語句相互の関係に注意し、文の構成について理解している。

4 本単元で育てる資質・能力

思考表現する力 【重点目標：文章や意見などの情報を比較して考える。】	
A	二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づき、伝えることができる。
B	二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいている。
C	二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいていない。

5 学習内容の系統性



6 指導計画 (全7時間)

次	時	学習内容	関	読	書	言	☆資質・能力の評価規準 教科の評価規準	評価方法
単元前	総	課題の発見・課題設定 (1) ・ 総合的な学習の時間で勉強していることを他学年やお家の人に知ってもらうために何かできないかを考える。						
一	1	課題の発見・課題設定 (1) ・ 「総合的な学習の時間で勉強していることを他学年やお家の人に知ってもらうために新聞を作ろう。」という単元のゴールを確認する。 ・ 身近な「たより」を提示し、伝えている内容や書き手が工夫している点について考える。	○				○ 二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとしている。 【関心・意欲・態度】	発言
二	2	情報の収集 整理・分析 (4) ・ 二つの「ほけんだより」を読み比べるときに気をつけることを確かめる。	○				○ 二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとしている。 【関心・意欲・態度】	発言 ノート
	3	・二つの文章の共通点と相違点を確認し、書き手が伝えたいことを読み取る。	○	○			○ 二つの文章を読み比べて、共通点と相違点を見つけようとしている。【読む】	発言 ノート
	4	・図表と文章とを関係づけ、図表の効果を考える。		○			○ 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。【読む】	発言 ノート
	5	・二つの文章のそれぞれの説明の仕方の工夫を整理する。		○			○ 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。【読む】	発言 ノート
	6	・読み取ったことから「ほけんだより」のよいところを見つけ、発表する。		○			○ 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。【読む】 ☆ 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいている。 【本時6/7時間】	発言 ワークシート
	7	・ 学習の振り返りをする。						
単元後	総	実行・まとめ・創造・表現 (2) ・ 総合的な学習の時間で勉強していることを他学年やお家の人に知ってもらうために新聞を作る。			○		○ 「ほけんだより」の文章を参考にして、新聞を書いている。 【書く】	新聞

7 本時の目標 (本時6/7)

読み取ったことから「ほけんだより」のよいところを見つけ、その理由を書き、発表することができる。

8 本時の展開

学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) (「特に配慮を要する」児童への支援●) ☆本単元に関わる資質・能力に関わる留意事項	評価規準 (○) (評価方法) ☆資質・能力の評価規準 (評価方法)
1 前時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章には、同じところと違うところがあったね。 図や表が書かれていて分かりやすかったね。 	○ 前時までの学習内容を想起させ、2つの文章の共通点・相違点・書き手の工夫を確かめる。	
2 めあての確認をする。	め 「ほけんだより」のよいところを見つけ、その理由を発表しよう。		
☆ まなびの宝石の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> 「考える力・伝える力」をつけていきましょう。 		
3 課題を解決する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ① 始めにどれを選んだか書く。 ② 理由がいくつあるかを考え、じゅんじょだてて書く。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 私は、 つめの文章を選びました。 よいと思った理由は、 つあります。 1つ目は、 ~です。 2つ目は、 ~です。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 図があって、分かりやすいからです。 アドバイスの内容が自分でもできそうだからです。 朝食を食べたら良いことが書かれているからです。 	○ 理由を伝える書き方を確認する。 ☆ 二つの「ほけんだより」から一つを選び、よいところを見つけ、読み比べて考えたことと、よいと思った理由を書かせる。 ○ ・中の文章について ・図・表の効果について ・アドバイスについて の3つの視点に注目させる。 ● 穴抜きのワークシートを配布し、自分で書けるようにする。 ○ 早く書けた児童は、2つの文章のよいところについて書かせる。 ○ よいと思った理由をグループで交流させる。 ○ よいと思った理由を全体で発表する。	☆ 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気づいている。 ○ 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読む。 【読む】

<p>4 本時をふり返る。</p> <p>☆「まなびの宝石」について振り返る。</p> <p>5 次時の課題の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 二つの文章のよいところや工夫がよく分かったね。 • 新聞づくりの参考にできそうだね。 <ul style="list-style-type: none"> • 「考える力・伝える力」がついたね。 	<p>○ 次時の予告をする。</p>	
---	--	--------------------	--

9 板書計画

○ 二つ目の文章をえらんだ理由

○ 一つ目の文章をえらんだ理由

二つ目の文章

一つ目の文章

☆

ほげんだよりを読みくらべよう

① 「ほげんだより」のよいところを見つけ、その理由を発表しよう。

① はじめにどれをえらんだかを書く。

② よいと思った理由がいくつかあるかを考え、じゅんじよだてて書く。

- よいと思った理由は、○つあります。
- 一つ目は、～です。
- 二つ目は、～です。

資質・能力に係る単元前の児童生徒の実態

説明文を読み取ることに時間がかかり、支援の必要な児童が多くいた。

中心となる語や文を考えながら段落ごとの内容をとらえる学習はしているが、図や表などが含まれた実生活のテキストを読み、そこから事実と意見との関係を考え、書き手の工夫を読み取ることが難しかった。

単元での具体的な手立て

そこで、事実と意見との関係をとらえさせるために、二つのほけんだよりでの「保健室の先生が伝えたいこと」は何かを考えさせたり、共通点や相違点、図表の効果などのポイントを全体で確認したりして、読み比べるようにさせた。

発言、ノート、ワークシート等の記述から見える児童生徒の変容

その結果、二つのほけんだよりでは、先生が伝えたいことは違っているため、事実に合わせて意見を述べているということに気づくことができた。また、読み取ったことから、ほけんだよりのよいところを全員が見つけ、その理由を書くことができた。

